

## 特別会計

### ◆国民健康保険事業

加入者の皆さんの健康保持と増進に努めました。保険料は前年度繰越金の活用などにより、一人当たりの平均額を、ほぼ前年度のまま据え置きました。

平成21年度末現在で、国民健康保険に加入している世帯は町総世帯数の48.2%、被保険者は町総人口の39.2%です。

### ◆下水道事業

西部・東部処理分区を重点に、1,283.2mの下水道管を整備し、生活環境の維持・向上を図りました。また、過去に借り入れた高利率の地方債を低利率のものに借り換え、後年度の公債費負担の軽減に努めました。

平成21年度末の処理区域面積は399.0haとなり、面積普及率は76.6%、人口普及率は93.7%となりました。

### ◆老人保健医療

後期高齢者医療制度の開始に伴い、平成20年3月末日をもって老人保健医療制度が廃止されたため、平成20年4月以降は請求遅延分及び過誤調整分医療費を支出しました。

### ◆介護保険事業

町民の皆さんが高齢により介護が必要となった場合に、その人の持っている能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、保健医療の向上と福祉の増進に努めました。

### ◆公共用地先行取得事業

(仮称)温泉場地区公園用地を取得するために借り入れた地方債の元利償還金を支払いました。

### ◆後期高齢者医療

老人保健医療制度に代わり平成20年4月から始まった制度で、75歳以上の高齢者などの健康保持と増進のため、被保険者の資格管理や医療給付金などの窓口事務及び保険料の徴収業務を行いました。

### 歳 入

会計名	決算額	対前年度比	
		増減額	増減率
国民健康保険事業	38億1,839万円	△1,623万円	△0.4%
下水道事業	15億8,432万円	△1,153万円	△0.7%
老人保健医療	852万円	△2億6,181万円	△96.9%
介護保険事業	18億7,821万円	2,703万円	1.5%
公共用地先行取得事業	1,630万円	△35万円	△2.1%
後期高齢者医療	2億8,572万円	1,246万円	4.6%
合 計	75億9,146万円	△2億5,043万円	△3.2%

### 歳 出

会計名	決算額	対前年度比	
		増減額	増減率
国民健康保険事業	37億1,189万円	1億3,789万円	3.9%
下水道事業	15億6,663万円	△1,775万円	△1.1%
老人保健医療	861万円	△2億6,662万円	△96.9%
介護保険事業	18億6,095万円	5,091万円	2.8%
公共用地先行取得事業	1,630万円	△35万円	△2.1%
後期高齢者医療	2億7,112万円	△463万円	△1.7%
合 計	74億3,550万円	△1億 55万円	△1.3%

## 企業会計

### ◆水道事業

広河原、<sup>ひろかわら</sup> 暮山、<sup>まくやま</sup> 南郷、<sup>なんごう</sup> 尾崎の4浄水場から、日常生活に不可欠な水道水を安全でおいしく、さらに安定して供給するために、浄水場や管路などの施設整備や維持管理を図りました。

平成21年度は配水管工事費として、老朽管の布設替えなどを行いました。

### ◆温泉事業

貴重で限りある温泉資源の保護と効率的な安定供給を図るため、源泉所有者などの関係者の協力を得ながら集中管理施設の整備を進めるとともに、健全な経営に努めました。

平成21年度は源泉設備工事費として、湯河原第26号泉コンプレッサー設置工事、送湯及び給湯設備工事費として、送湯老朽管布設替工事などを行いました。

### 収益的収入と支出

会計名	収入済額	支出済額	収支差引額
水道事業	3億9,571万円	3億8,989万円	582万円
温泉事業	2億 928万円	2億 674万円	254万円

※消費税抜き

### 資本的収入と支出

会計名	収入済額	支出済額	収支差引額
水道事業	5,130万円	2億2,580万円	△1億7,450万円
温泉事業	0万円	1億 158万円	△1億 158万円

※消費税込み

差引不足額は、内部留保資金で補てん